

静岡県内市町の地域コミュニティ・協働事例

掛川市・「まちづくり団体交流会」

「地縁」と「志縁」をつなぐ！ 多様な参加者が集う交流会

掛川市では、平成26年度から平成27年度の間、おおむね小学校区ごとに、31地区の「まちづくり協議会」が設立されました。

「まちづくり協議会」は、地区ごとにある自治会、地域生涯学習センター、地区福祉協議会、PTA、青少年団体などが構成員となり、地域全体の調整や課題解決のために事業を展開しています。

今回は、「地縁型団体」の「まちづくり協議会」と、「志縁型団体」「目的型団体」と呼ばれるNPOや企業とのマッチングを図るため、「まちづくり団体交流会」が初めて開催されたので、その様子をお知らせします。

掛川市協働アドバイザーの川端務夢氏から「協働して事業を行うメリット・協働の進め方」という話題提供があった後、「南郷地区まちづくり協議会」と「NPO法人ナームハート」とが行った「大規模災害時における広域避難所でのペット同行避難訓練」についての発表がありました。「まちづくり協議会」にペット避難の専門家がいなかったため、NPO法人とコラボレーション（協働）することで、「ペットの避難訓練」を実現し、その後の検証も行ったそうです。

発表後は、様々なNPO、企業などが、「まちづくり協議会」にPRする時間。「婚活事業を提供できる」「健康づくり講座を提供できる」など、多岐に渡る分野について、たくさんの団体から手が挙がり、時間が足りなくなるほどの盛況ぶりでした。



会場には人がぎっしり！



発表する「南郷地区」の中村会長



新たなコラボがここから！

PRの時間が終わると、掛川市さんが準備した面談スペースに、PRした団体に興味を持った「まちづくり協議会」の人たちが早速、団体さんに話を詳しく聞いていました。

とくに健康づくり講座を提供する団体さんは大人気。それぞれが、コラボレーション（協働）への第一歩を踏み出していたように見えました。

編集後記

地縁だけでは解決できない地域課題は、近くにいるNPOなど志縁型団体と協働することで、解決できる可能性が高くなりそうです。

掛川市の次のチャレンジに注目です！